

1 平成18年木材（用材）需給実績見込みの概要

製材用の需要については、平成18年の新設住宅着工戸数が129万戸と増加したものの、一戸当たりの新設住宅着工床面積が若干減少したことなどから、前年比0.8%減になるものと見込む。

合板用の需要については、国内製造向け国産材丸太の需要が見込まれることなどから、前年比9.3%増になるものと見込む。

パルプ・チップ用の需要については、紙・板紙の生産量が前年並みと見込まれるものの、輸入チップ価格の上昇などから、前年比1.4%減になるものと見込む。

その他用（集成材等）の需要については、構造用集成材に対する需要が見込まれることなどから、前年比19.2%増になるものと見込む。

この結果、総需要量は、前年並の8,675万 m^3 程度（対前年比1.0%増）になるものと見込む。

なお、供給面では、国産材は1,747万 m^3 程度（対前年比1.7%増）、輸入材は6,928万 m^3 程度（対前年比0.9%増）になるものと見込む。

2 平成19年木材（用材）需給見通しの概要

製材用の需要については、平成19年の新設住宅着工戸数が前年並、また、一戸当たりの新設住宅着工床面積がわずかに増加すると見込まれることなどから、前年見込み比0.5%増になるものと見通される。

合板用の需要については、引き続き国内製造向け国産材丸太の需要が見込まれることなどから、前年見込み比0.5%増になるものと見込む。

パルプ・チップ用の需要については、紙・板紙の生産量がわずかに増加すると見込まれることなどから、前年見込み比0.9%増になるものと見込む。

その他用（集成材等）の需要については、構造用集成材に対する需要が見込まれることなどから、前年比1.4%増になるものと見込む。

この結果、総需要量は、前年並の8,740万 m^3 程度（前年見込み比0.7%増）になるものと見通される。

なお、供給面では、国産材は1,794万 m^3 程度（対前年見込み比2.6%増）、輸入材は6,946万 m^3 程度（対前年見込み比0.3%増）になるものと見通される。

(別添)

木材（用材）の需給の実績と見通し

(単位：千m³)

年次	需 要					供 給											
	総 数	製材用	合板用	パルプ・チップ用	その他用	総 数	国 産 材			工場残材	輸 入 材						
							総 数	丸太	林地残材		総 数	丸太	製材	合単板	チップ	パルプ	その他
7年	111,922	50,384	14,314	< 6,280 > 44,922	2,302	111,922	22,916	22,898	18	< 6,280 >	89,006	25,865	15,982	6,993	26,411	11,990	1,765
8年	112,331	49,758	15,726	< 6,443 > 43,822	3,024	112,331	22,489	22,475	14	< 6,443 >	89,842	25,126	16,188	8,415	26,361	11,248	2,503
9年	109,905	48,339	15,252	< 6,266 > 43,736	2,578	109,905	21,568	21,555	13	< 6,266 >	88,337	22,966	17,119	8,422	26,406	11,327	2,097
10年	92,058	37,161	11,146	< 6,299 > 42,140	1,611	92,058	19,333	19,318	15	< 6,299 >	72,725	18,597	10,582	6,082	25,721	10,541	1,201
11年	97,812	41,178	13,705	< 6,166 > 40,956	1,972	97,812	18,764	18,739	25	< 6,166 >	79,048	18,787	15,081	8,181	25,295	10,144	1,560
12年	99,263	40,946	13,825	< 6,537 > 42,186	2,306	99,263	18,022	17,990	32	< 6,537 >	81,241	18,018	15,913	8,424	26,661	10,320	1,904
13年	91,247	37,087	13,074	< 6,319 > 38,706	2,379	91,247	16,759	16,724	35	< 6,319 >	74,488	15,942	14,340	8,423	25,104	8,659	2,019
14年	88,127	34,856	13,226	< 7,174 > 37,607	2,438	88,127	16,077	15,982	95	< 7,174 >	72,050	14,865	13,694	8,502	24,791	8,101	2,097
15年	87,191 (98.9)	34,766 (99.7)	12,810 (96.9)	< 7,951 > 36,979 (98.3)	2,636 (108.1)	87,191 (98.9)	16,155 (100.5)	16,012 (100.2)	143 (150.5)	< 7,951 > (110.8)	71,036 (98.6)	14,398 (96.9)	14,088 (102.9)	7,897 (92.9)	24,337 (98.2)	8,022 (99.0)	2,294 (109.4)
16年	89,799 (103.0)	35,041 (100.8)	13,976 (109.1)	< 7,682 > 37,981 (102.7)	2,802 (106.3)	89,799 (103.0)	16,555 (102.5)	16,434 (102.6)	121 (84.6)	< 7,682 > (96.6)	73,245 (103.1)	14,329 (99.5)	14,468 (102.7)	8,587 (108.7)	25,112 (103.2)	8,292 (103.4)	2,456 (107.1)
17年	85,857 (95.6)	32,901 (93.9)	12,586 (90.1)	< 7,974 > 37,608 (99.0)	2,763 (98.6)	85,857 (95.6)	17,176 (103.8)	17,033 (103.6)	143 (118.2)	< 7,974 > (103.8)	68,681 (93.8)	12,119 (84.6)	13,305 (92.0)	7,950 (92.6)	25,258 (100.6)	7,649 (92.2)	2,401 (97.8)
18年 見込み	86,750 (101.0)	32,631 (99.2)	13,753 (109.3)	< 7,897 > 37,074 (98.6)	3,293 (119.2)	86,750 (101.0)	17,473 (101.7)	17,328 (101.7)	145 (101.4)	< 7,897 > (99.0)	69,277 (100.9)	12,057 (99.5)	13,490 (101.4)	8,536 (107.4)	24,595 (97.4)	7,675 (100.3)	2,926 (121.8)
19年 見通し	87,396 (100.7)	32,806 (100.5)	13,827 (100.5)	< 7,719 > 37,425 (100.9)	3,338 (101.4)	87,396 (100.7)	17,936 (102.6)	17,791 (102.7)	145 (100.0)	< 7,719 > (97.7)	69,461 (100.3)	11,362 (94.2)	13,370 (99.1)	9,168 (107.4)	24,923 (101.3)	7,675 (100.0)	2,963 (101.3)

資料：平成7年～平成17年は林野庁「木材需給表」。

- 注：
1. 輸入材のうち、製材、合単板、チップ、パルプ及びその他は、丸太換算材積である。
 2. 本表には薪炭材及びしいたけ原木を含まない。
 3. 輸入の構造用集成材は需要のその他用、供給のその他に含まれている。
 4. < >内は、工場残材及び解体材・廃材を利用した木材チップの需要量(供給量)であり、製材用等に丸太換算して含まれているため外書きとした。
 5. ()内は、前年比(%)である。
 6. 数値の合計値は、四捨五入のため一致しない場合がある。